

ぶんきょうく こ どくしょかつどう すいしんけいかく
文京区子ども読書活動推進計画

れいわ ねんど れいわ ねんど
令和8年度～令和12年度

ぶんきょうく
文京区

もくじ

1 はじめに

2 アンケートの結果

2-1 しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい 小学生・中学生・高校生

2-2 しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい 小学生・中学生・高校生

2-3 ようちえん ほいいくえん かよ こ 幼稚園や保育園に通っている子どものおとうさん・おかあさん

3 計画の5つの目標

もくひょう はったつだんかい おう どくしょきかい ていきょう
目標1 発達段階に応じた読書機会の提供

もくひょう たよう こ どくしょきかい ていきょう
目標2 多様な子どもたちへの読書機会の提供

もくひょう かにい ちいき がっこう かんけいきかん どくしょかんきょう せいび どくしょかつどう じゅうじつ
目標3 家庭・地域・学校・関係機関における読書環境の整備と読書活動の充実

もくひょう こ どくしょかつどう いぎ たいせつ ふきゅう けいはつ
目標4 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

もくひょう ちいきだんたいとう きょうどう どくしょかつどう かせいか
目標5 地域団体等との協働による読書活動の活性化

4 まとめ

1 はじめに

ぶんきょうく こ どくしょかつどう おうえん ぶんきょうく どくしょかつどう
文京区では、子どもたちの読書活動を応援するために、「文京区子ども読書活動
すいしんけいかく
推進計画」という、これからの5年間の計画を立てました。

けいかく れいわ ねんど れいわ ねんど ねんかん すす
この計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間、進められていきます。

● 計画をつくる目的（何のために？）

けいかく もくてき なん
この計画は、子どもたちがもっと本と出会い、読書を楽しめるようにするため
けいかく こ ほん であ どくしょ たの
のものです。これまでもいろいろな取り組みをしてきましたが、社会の変化に
と く しゃかい へんか
合わせて、例えば、目の不自由な子どもも読書を楽しめるようにしたり、デジタル
あ たと め ふじゆう こ どくしょ たの
で読書ができるようにしたりといった新しい課題にも対応できるように考えて
どくしょ あたら かだい たいおう かんが
います。

● 対象年齢（だれのために？）

たいしょうねんれい
この計画は、0歳からおよそ18歳までの子どもたちを対象にしています。

2 アンケート結果

けっか
けいかく た まえ ぶんきょうく こ どくしょ
計画を立てる前に、文京区では子どもたちの読書についてアンケートをとりました。
た。

ほん よ す ひと わりあい しょうがくせい こうこうせい にんちゅう
本を読むことが「好き」という人の割合が、小学生と高校生は80%（100人中80
にん いじょう ちゅうがくせい にんちゅう にん いじょう
人）以上、中学生は73%（100人中73人）以上でした。

また、本を読むことが「きれい」「にがて」という子どもたちに、読書をする
チャンスを増やしたり、^ふ楽しい^{たの}と思^{おも}ってもらえる工夫^{くふう}が必要^{ひつよう}であることがわかりま
した。

アンケートに^{こた}答えてくれたみなさん、ありがとうございました。

2-2 アンケート結果 (小学生・中学生・高校生)

Q 読書の量と読む場所

● 1か月に読んだ本の数

・小学3年生は平均12.8冊

・中学2年生は平均5.9冊

・小学5年生は平均9.3冊

・高校2年生は平均3.8冊

● 本を読まない子どもの割合

1か月に1冊も本を読まなかった子の割合は、小学3年生で100人のうち10人、小学5年生で100人のうち14人、高校2年生ではおよそ半分となりました。

● どこで本を読んでする？

どの年齢の子どもも、「自分の家」で読むことが一番多かったです。次に多かったのは、小学3年生、5年生、中学2年生は「教室」で、高校2年生は「区立図書館」でした。学校図書館も、多くの子どもたちが利用している場所です。

2-1 アンケート結果^{けっか} (小学生^{しょうがくせい}・中学生^{ちゅうがくせい}・高校生^{こうこうせい})

Q 読書^{どくしょ}をしない理由^{りゆう}

読書^{どくしょ}をしなかった人^{ひと}に理由^{りゆう}を聞きま^きした。一番多^{いちばんおお}かった理由^{りゆう}は次^{つぎ}のとおりです。

● 小学3年生^{しょうがく ねんせい}

「外遊^{そとあそ}び、スポーツ^{ほう す}の方が好き」

● 小学5年生^{しょうがく ねんせい}、中学2年生^{ちゅうがく ねんせい}、高校2年生^{こうこう ねんせい}

「テレビやゲーム^{ほう す}の方が好き」

● ほかにも、このよう^{いけん}な意見^{いけん}がありました

「読書^{どくしょ}がきらい」「読^よみたい本^{ほん}がない」「勉強^{べんきょう}が忙^{いそが}しい」という声^{こえ}も聞^きかれま
した。特に^{とく}に中学2年生^{ちゅうがく ねんせい}では、「読書^{どくしょ}がきらい」が35.9%、高校^{こうこう}2年生^{ねんせい}では、「読
みたい本^{ほん}がない」が27.0%と高^{たか}くなっています。

2-3 アンケート結果^{けっか}（おとうさん・おかあさん）

Q おうちでの読書^{どくしょ}のようす

- おうちでの読み聞かせ^{よ き}のようす

幼稚園^{ようちえん}や保育園^{ほいくえん}の子どもたちの保護者^{ほごしゃ}に聞くと、**93.9%のおうちで読み聞かせ**をしている^{よ き}ことがわかりました。多くの保護者^{ほごしゃ}が「読み聞かせは子どもの成長^{せいちょう}に役立つ^{やくだ}」と感じています。一方で、「ほとんどしていない^{いっぽう}」というおうちが6.1%ありました。

- おうちにある本の数^{ほん かず}

「絵本^{えほん}が51冊以上^{さつじょう}」というおうちが44.2%あり、多くの家庭^{おお}で絵本^{かてい えほん}がたくさんあることがわかりました。

2-4 アンケート結果のまとめと課題

アンケート結果から、文京区の子どもたちの読書活動には、つぎのような課題が見えてきました。

●読書が好きな子ども、きれいな子ども楽しめるように

読書がきれい、読みたい本が見つからないという子どものために、何をすればよいか考える必要があります。

また、読書が好きな子どもたちがこれからも読書を楽しめるように、工夫していく必要があります。

●だれもが読書をしたときにできるように

子どもたちがいつも過ごす様々な場所で、読書ができる環境を整える必要があります。

この計画では、これらの課題を解決するために、5つの目標を立てて、いろいろな取り組みをしていきます。

3 計画の5つの目標

ぶんきょうくこ どくしょかつどうすいしんけいかく こ どくしょ たの おお もくひょう
 文京区子ども読書活動推進計画では、子どもたちが読書をもっと楽しめるように、つぎの5つの大きな目標
 とく
 に取り組みます。

もくひょう はったつだんかい おう どくしょきかい ていきょう
目標1 発達段階に応じた読書機会の提供

あか せいちょう あ ほん であ きかい
 赤ちゃんからおとなになるまで、ひとりひとりの成長に合わせて、本と出会う機会をつくります。

もくひょう たよう こ どくしょきかい ていきょう
目標2 多様な子どもたちへの読書機会の提供

め ふじゆう こ がいこくご はな こ さまざま こ どくしょ たの
 目の不自由な子どもや、外国語を話す子どもなど、様々な子どもたちが読書を楽しめるようにします。

もくひょう かてい ちいき がっこう かんけいきかん こ どくしょかんきょう せいび どくしょかつどう じゅうじつ
目標3 家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実

いえ がっこう としょかん じどうかん こ おお じかん す ばしょ ほん どくしょ
 家、学校、図書館、児童館など、子どもたちが多くの時間を過ごすいろいろな場所に本をならべ、読書した
 いとときにできるようにします。

もくひょう こ どくしょかつどう いぎ たいせつ ふきゅう けいはつ
目標4 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

かた まわ どくしょ たいせつ つた こ どくしょ おうえん
 おうちの方や周りのおとなに、読書の大切さを伝えて、子どもたちと読書をもっと応援してもらえるように
 します。

もくひょう ちいきだんたいとう きょうどう こ どくしょかつどう かつせいか
目標5 地域団体等との協働による子どもの読書活動の活性化

ちいき だんたい だいがく ほんや きょうりよく こ どくしょかつどう かつぱつ
 地域のいろいろな団体、大学、本屋さんなどと協力して、子どもの読書活動をもっと活発にしていきます。

もくひょう はったつだんかい おう どくしょきかい ていきょう
[目標 1] 発達段階に応じた読書機会の提供

と く めい 取り組み名	ないよう 内容
じぎょう じゅう ブックスタート事業の充 じつ 実	せいご げつ あか えほん はい 生後4か月の赤ちゃんに、絵本が入ったブックスタートパックをプ レゼントして、親子のふれあいを通した本との出会いのきっかけを つく 作ります。
かい よ き おはなし会や読み聞かせ ほん ふ きかい などの本に触れる機会の ていきょう 提供	こ そうぞうりょく ゆた ところ はぐく ようちえん ほしいくえん 子どもの想像力や豊かな心を育むため、幼稚園や保育園で、おはな かい えほん かみしばい よ き せっきょくてぎ と い し会や絵本・紙芝居の読み聞かせを積極的に取り入れます。
さくせい ブックリストの作成	ねんれい あ ほん さくせい 年齢に合わせたブックリスト（おすすめの本のリスト）を作成し、 よ ほん こえ こた こうこうせいむ 「読みたい本がない」という声にも応えます。高校生向けのリスト あたら つく も新しく作ります。
ちゅうがくせい こうこうせい たいしょう 中学生・高校生を対象と じゅうじつ したサービスの充実	ちゅうがくせい こうこうせい ほん であ としょかん ちゅうこうせい 中学生・高校生が本と出会えるように、図書館の中高生コーナーを みりょくてき じゅうじつ 魅力的にしたり、ホームページを充実させたりします。

もくひょう たよう こ どくしょきかい ていきょう
 [目標2] 多様な子どもたちへの読書機会の提供

と く めい 取り組み名	ないよう 内容
どくしょ むずか 読書することが難しい こ む ほん じゅうじつ 子ども向けの本の充実	てんじとしょ ろくおんとしょ おお もじ ほん ぬの えほん 点字図書や録音図書、大きな文字の本、布の絵本などのいろいろな ほん でんししょせき ふ 本や電子書籍も増やします。
がいこくごとしょ せいび じゅうじつ 外国語図書の整備・充実	がいこくご はな こ がいこくご ほん あつ 外国語を話す子どもたちのために、外国語の本もたくさん集めます。
がいこくご はな こ どく 外国語を話す子どもの読 しょかつどう すいしん 書活動の推進	にほんご か ほん ようい がいこくご かい やさしい日本語で書かれた本を用意したり、外国語でのおはなし会 おこな がいこくご はな こ どくしょ した し を行ったりして、外国語を話す子どもたちが読書に親しめるよう支 えん 援します。
にゅういんちゅうこ 入院中の子どもへのサー びゅうじつ ビスの充実	にゅういん こ どくしょ とお ほん 入院している子どもたちが読書から遠ざかることのないよう、本を か だ かい 貸し出したり、おはなし会をしたりします。

もくひょう かてい ちいき がっこう かんけいきかん どくしょかんきょう せいび どくしょかつ
 [目標3] 家庭・地域・学校・関係機関における読書環境の整備と読書活
 どう じゅうじつ
 動の充実①

とく めい 取り組み名	ないよう 内容
としょかん がっこう しせつ 図書館と学校や施設との れんけい しえんたいせい じゅうじつ 連携・支援体制の充実	としょかん がっこう ようちえん ほいいくえん ほん か だ 図書館から学校、幼稚園、保育園などにたくさんの本を貸し出した り、図書館の職員がおはなし会に行ったりします。
あか ほごしゃ としょ 赤ちゃんと保護者が図書 かん りょう かんきょう 館を利用しやすい環境づ くり	おやこ たの あんしん としょかん つか あか む えほん 親子で楽しく安心して図書館を usable するように、赤ちゃん向けの絵本 いくじ かん ほん ようい としょかん や育児に関する本を用意したり、図書館のレイアウトやサービスを くふう 工夫したりします。
でんししょせき かつよう 電子書籍の活用	つか ほん よ タブレットなどを使ってインターネットからも本が読めるようにし ます。
がっこう どくしょじかん 学校における読書時間の かくほ 確保	どくしょ しゅうかん み あさどくしょ どくしょしゅうかん どくしょ おこな 読書をする習慣が身につくよう、朝読書や読書週間など、読書を行 じかん もう う時間を設けます。

もくひょう かてい ちいき がっこう かんけいきかん どくしょかんきょう せいび どくしょかつ
**[目標3] 家庭・地域・学校・関係機関における読書環境の整備と読書活
 動の充実②**

と く めい 取り組み名	ないよう 内容
がっこう どくしょかつどう 学校における読書活動の すいしん 推進	さくせい どくしょ たんきゅう ブックリストを作成したり、イベントをしたり、読書による探究 かつどう はっぴょう きかい もう 活動や発表の機会も設けたりします。
しら がくしゅう しえん 調べ学習への支援	がっこう としょかん ちいき としょかん こ しら がくしゅう てつだ 学校の図書館や地域の図書館で、子どもたちの調べ学習をお手伝 いします。
がっこう としょかん ししよ は 学校の図書館へ司書を派 けん きのう じゅうじつ 遣して機能を充実	がっこう としょかん ほん くわ としょかんいん ししよ こ 学校の図書館で、本に詳しい図書館員（司書）が、子どもたちの どくしょ がくしゅう てつだ 読書や学習をお手伝いします。
がっこうとしょかんしりょう じゅうじつ 学校図書館資料の充実	こ きょうみ も さいしん ほん 子どもたちが興味を持つような、最新の本やいろいろなジャンル ほん しら がくしゅう ひつよう ほん けいかくてき の本、調べ学習に必要な本を計画的にそろえていきます。

もくひょう こ どくしょかつどう いぎ たいせつ ふきゅう けいはつ
 [目標4] 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

とく めい 取り組み名	ないよう 内容
ほごしゃ けいはつ 保護者への啓発	ほごしゃ たい こ このほん よ ほん しょうかい こうえんかい 保護者に対して子どもの好む本や読んでほしい本の紹介や講演会 おこな どくしょ よ き たいせつ つた などを行い、読書や読み聞かせの大切さを伝えます。
こ けいはつ 子どもへの啓発	どくしょ たの たいせつ こ つた 読書の楽しさや大切さを子どもたちに伝えます。また、イベント おこな どくしょ きょうみ かんしん たか やコンテストなどを行って、読書への興味・関心を高めます。
けいはつ プレママ・プレパパへの 啓発	かた む よ き うた これからママ、パパになる方に向け、読み聞かせやわらべ歌など、 こ たの どくしょ たいせつ つた 子どもと楽しむ読書の大切さを伝えます。
どくしょかつどう かん 子ども読書活動に関する じょうほうまどぐち 情報窓口（ホームページ じゅうじつ ）の充実	としょかん じょうほう ほん どくしょ かん 図書館ホームページに、イベント情報、おすすめの本、読書に関 けいさい くみん やくだ じょうほう ていきょう するコラムなどを掲載して、区民にとって役立つ情報を提供しま す。

もくひょう ちいきだんたいとう きょうどう どくしょかつどう かつせいか
[目標5] 地域団体等との協働による読書活動の活性化

とくめい 取り組み名	ないよう 内容
どくしょかつどう じゅうじつ 読書活動を充実させるた めの人材育成 じんざいいくせい	としょかん がっこう せんせい こ どくしょ した ひつよう 図書館や学校の先生たちが、子どもたちが読書に親しむために必要 な知識やスキルを身につけるため、研修を行います。 ちしき み けんしゅう おこな
ちいきだんたいとう れんけい 地域団体等との連携	ちいき だんたい だいがく ほんや きょうりょく ちいきぜんたい 地域のいろいろな団体、大学、本屋さんなどと協力して、地域全体 で子どもたちの読書を応援します。 こ どくしょ おうえん
としょかん いく 図書館ボランティアの育 成・協力 せい きょうりょく	としょかん いくせい 図書館のボランティアさん（ライブラリーパートナー）を育成して、 読み聞かせやイベントのサポートを行います。 よ き おこな
がっこうとしょかん 学校図書館ボランティア かつどう しえん 活動の支援	がっこうとしょかん ほごしゃ ちいき じゅうみん みな 学校図書館のボランティアさんなど、保護者や地域の住民の皆さん が学校図書館の運営に参加して、子どもたちの読書を応援します。 がっこうとしょかん うんえい さんか こ どくしょ おうえん

4 まとめ

これらの^{ぐたいてき}具体的な^と取り組み^くを通して、^{とお}**0歳から18歳までの子**^{さい}^{さい}^こ
どもたち^{ほん}が、^{であ}本と^{どくしょ}出会い、^{たの}読書を楽しめる^{かんきょう}環境を整える^{ととの}ことを
^{めざ}目指すと^{ぶんきょうく}ともに、^こ文京区の子^{ほん}どもたちが本と^{であ}たくさん^{めざ}出会い、
^{どくしょ}読書の^{たの}楽しさを^{かん}感じて、^{みらい}未来を^{ゆた}豊かに^い生きていく^{ちから}ための^{はぐく}力を育
^{くぜんたい}めるように、^{おうえん}区全体で^{くぜんたい}応援して^{おうえん}いきます。